

書道教室で創造と未来を拓く

山紫海碧

有銘幼小中学校
学校便り 66号
山紫に海碧く
H27.7.7



七月二日(木)に中学生の書道教室が開かれました。金城先生を講師にお招きし中学生が書に親しみました。



横線と縦線の始筆、終筆、とめはねなどの基本を確認し、一時間ほど練習した後、曲線も練習して今日のお題「創造と未来」の美しい書を求めて筆を走らせました。四時間で、納得できる作品に仕上げた中学生達は、展示会でよさや美しさを味わい満ち足りていました。



中一年生が二つの研究授業で学ぶ



涼太先生が保健体育で研究授業を行いました。単元は「体の発育・発達」です。中一年生の身長の伸びのグラフから発育の特徴や時期を理解し、自分の生活を振り返りました。佳成先生は、理科の研究授業でした。目標は「植物も呼吸することがわかる」です。実験結果から得られた事実を比較し、考察していき結論を導く内容です。涼太先生・佳成先生ご苦労様。二つの研究授業で中一年生は、よく学びました。



◎心臓マッサージは必ずやった方がいいんだと分かりました。
◎初めてAEDを使ってみて、機械がしゃべったり絵が描いてあったから分かりやすかった。
◎心臓マッサージはともかく、かたくてやりづらかったです。
◎AEDは周りの人まで感電させてしまうこともあるので、気をつけて使わないといけない。
◎人を救うことは大変なことだと思いました。
◎救急車が来るまでずっと心臓マッサージを続けたいと思いました。
◎きついけど、命を守るには、これくらいのことやらないといけません。
◎心肺蘇生は思った以上にきつくて、相手の骨が折れると聞いてびっくりしました。
◎AEDは音声が流れていて、初めてでも使いやすかったです。
◎AEDは二千ボルトの電流が流れる。
◎いざとなった時、全力で習ったことを生かしたいです。